

スポット

千手観音

その四



瑞法殿二階に鎮座

通常は、四十手、掌中に各一眼をもち、一手ごとに二十五有を救うといい、頭上に九面または十二面がある

Photo H.M

2 月	1 月	12 月	
<p>2 / 9</p> <p>涅槃会</p>	<p>1 / 1</p> <p>修正会</p>	<p>12 / 31</p> <p>除夜の鐘</p> <p>12 / 8</p> <p>成道会</p>	<p>当山行事</p>
<p>2 / 19</p> <p>●薩埵富士雪縞あらかき 雨水かな(富安風生)</p>	<p>1 / 20</p> <p>●大寒の入日野の池を 見失ふ(水原秋櫻子)</p>	<p>12 / 22</p> <p>●門前の小家もあそぶ 冬至かな(凡兆)</p> <p>12 / 7</p> <p>●大雪や茎ばかり掃く 藤落葉(涙人)</p>	<p>二十四節気</p>
<p>2 / 23</p> <p>天皇誕生日</p>	<p>1 / 13</p> <p>成人の日</p>	<p>2 / 3</p> <p>節分</p>	<p>祝日等</p>
<p>2 / 11</p> <p>建国記念の日</p>	<p>1 / 7</p> <p>人日の節句(七草)</p>	<p>2 / 4</p> <p>●立春の雑草園の 草ごよみ(山口青邨)</p>	

冬ごよみ

「こよみ事典」東京美術 参考

台風十九号

横尾動物病院

院長 横尾 清文

このところ、日本列島 両側を隅田川と荒川に

は大きな災害にあつて 挟まれているこの区は

います。地震もそうで 防災意識が高いのか、

すが、今回の台風十九 区役所に避難所が出来、

号は墨田区に住む私に 多くの方が避難しまし

とつて、ドキドキもの た。勿論、動物と一緒に

でした。昔この辺りは に避難ができます。そ

冠水したことがあります、 の時には、ケージやキャ

墨田区のハザードマッ リー等を食料と一緒に

プは、区のほとんどが、 もつていきます。ただ、

最悪埋まってしまうこ スペースは違うところ

とが示されていました。 になります。避難す

る事が大切なのです。

幸い大きな被害は墨田

区には無く、過ぎた後

はわりと町がきれい

でした。飛びそうな物を

皆さんが事前に片付け

て、電車が運休するこ

とで、傘の飛散がほ

みられませんでした。

備えあれば憂いなしと

はこの事かと感じまし

た。個人で出来る範囲

は小さくともやれる事

はしましょう。

この度の台風19号は

甚大な災害を各地にも

たりました。

亡くなられた方々のご

冥福を心よりお祈り申

上げます。

また、被災された皆様

に心からお見舞い申し

上げます。

一日も早い復旧復興を

成し、笑顔が戻られま

すよう祈念してやみま

せん。

山内 主 同

健康子クラブ

ながた内科クリニック

院長 永田 宏

TEL 0411-3610107

— 毎日のフットケアで予防を —

爪白癬 (爪の水虫)



爪白癬は爪にできる水虫で、10人に1人は爪白癬に感染しているという調べがあるほど、患者数が多い病気です。以前は非常に治りにくいといわれていましたが、現在ではよく効く薬が登場して治療が可能になっています。痒みなどの自覚症状がほとんどない爪白癬ですが、爪の色や形に異常を感じたら、放っておかず受診するようにしましょう。また足の水虫が感染源になりますから、ふだんからフットケアを行い予防することも大切です。

● 爪に住み着く白癬菌 検査で正しい診断を

爪白癬になる場合がほとんどです。

爪白癬とは、爪の中に白癬菌という水虫の原因菌が住み着いて起こる感染症で、爪の水虫ともいわれます。

通常、カビの一種である白癬菌が、足について足の水虫になり、それが爪にうつって爪白癬にかかっても、爪

一部が白、または黄色っぽく濁った色になってきます。症状が進むと濁った部分が広がり、爪が厚くなったり変形したりしてボロボロと欠けてきます。

爪白癬にかかっても、爪

に痒みや痛みがないため、自分が爪白癬にかかっているという自覚がない人が多く、高齢者ほど、爪の老化現象と考えて放置してしまいがちです。

爪白癬の診断は、似たような爪の症状が出る病気はほかにもあるので、見た目だけで判断するのではなく、顕微鏡検査で白癬菌がいるかどうかを確認する必要があります。

爪白癬を放っておくと、変形した爪が足に食い込んで痛んだり、傷をつけたりし、その傷からバイ菌が入って二次感染を起こす場合もあります。また、白癬

菌が体のほかの部分にうつり家族に感染する場合もあるので、爪に異常を感じたら軽視せず、皮膚科を受診するか、かかりつけ医に相談しましょう。

● 治療は処方箋薬で 根気よく続けて完治する

爪白癬の治療には、医師が処方する抗真菌薬の内服薬や外用薬が必要です。爪は硬くて薬が浸透しにくい



爪が厚くなったり、ボロボロと欠けたりしたら爪白癬かも

ので、市販の水虫外用薬はなかなか効きません。

受診して、比較的症狀が軽い場合や内服薬が飲めない場合に限り、外用薬が処方されますが、通常は内服薬を3〜6か月程度服用して爪白癬を治療します。

内服薬は、薬効成分が血液によって爪の内側まで届くので外用薬より高い治療効果が期待できますが、飲み合わせの悪い薬もあるので、ほかの薬を服用している場合は、必ず医師に伝えましょう。また、定期的な受診や血液検査を行い、副作用を起さず安全に治療できているかを確認することが大切です。

爪白癬の治療で一番大切なことは根気よく治療を続

けることです。症狀が先端部だけなら、治療は短期間で済みますが、爪全体に症狀がある場合は、治療に1年以上かかることも少なくありません。

自己判断で治療を止めると、症狀が進行したり、体のほかの場所に感染したりして治療が長引くことになります。また、白癬菌は家族間で感染しやすいので、家族全員で治療に取り組むことが大切です。

● 1日1回は足を洗い爪白癬を予防する

爪白癬や足の水虫にならないためには、白癬菌の感染を予防することが大切です。予防

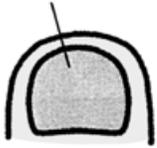
のポイントは、菌を体につけないこと、またついたとしてもきちんと洗い落とすことです。

白癬菌は感染した人の皮膚からはがれ落ちた垢あかの中で長期間生きています。それを踏みつけて菌が足につき、洗い落とさないでいると感染してしまいます。複数の人が裸足で使用するスポーツジムや入浴施設、飲食店の座敷、また家庭のバスマットや共有しているスリッパなど、生活のあらゆる場所に感染源があります。

しかし、たとえ菌が付着しても、健康な皮膚の中に菌が入り込むには24時間程度かかるので、1日1回、足をきれいに洗い流せば、感染を防ぐことができます。

軽石やヤスリなどを使うと、皮膚に細かな傷ができ、菌が皮膚に入りやすくなるので使わないようにしましょう。また、こまめに掃除機をかけたり洗濯したりして、住まいを清潔にし、毎日の適切なフットケアで感染を予防しましょう。

白癬菌におかされた爪



治療を開始すると、新しいきれいな爪が生まれてきます

